

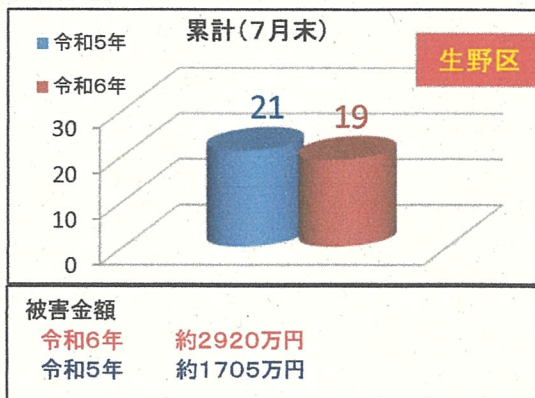
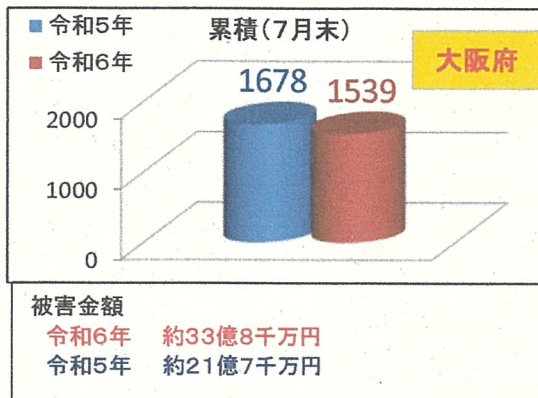


令和6年(7月末) 生野区内の犯罪発生状況

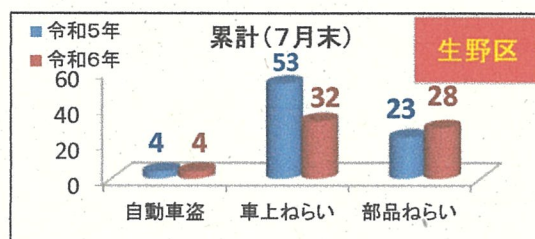
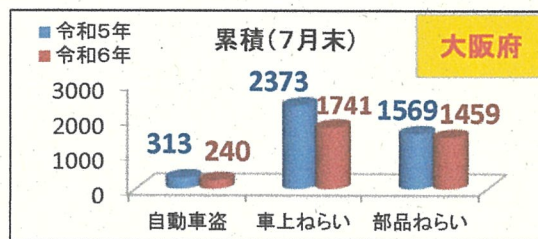


※認知件数は暫定値

特殊詐欺 認知件数

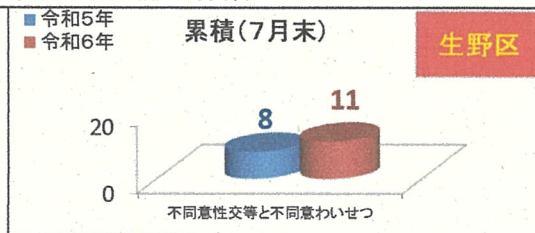
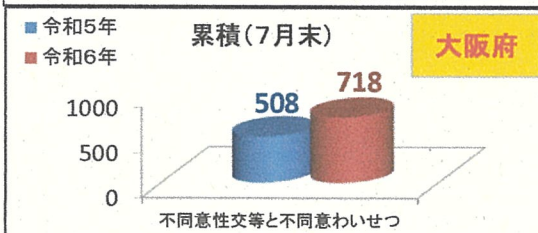


自動車関連犯罪 認知件数



性 犯 罪

不同意性交等と不同意わいせつ 認知件数



上記大阪重点犯罪の傾向

令和6年(7月末)の大阪重点犯罪について、特殊詐欺の認知件数は大阪府下・生野区共に減少しているが、被害金額は増加している。

また生野区の発生では、5割強が「手交型」の特殊詐欺で、その手口は被疑者にキャッシュカード等を直接手交するものである。

他3割強が「還付金型」の詐欺(手口～被疑者が被害者に電話をして誘導し、近くのATMで振り込ませるもの)で、2割弱が「架空請求型」(手口～パソコンにウイルスが感染した修理費用としてお金を請求する等のもの)である。

自動車関連犯罪(自動車盗、車上ねらい、部品ねらい)については、大阪府下では全て減少しているが、生野区では自動車盗が増減はなく、車上ねらいは減少、部品ねらいは増加している。

その内、生野区の部品ねらいの3割強は四輪及び二輪のナンバープレートを狙った犯行で、自転車のサドル等を狙った犯行が2割強、自転車のバッテリーを狙った犯行も2割強である。

車上ねらいについては、6割弱が自転車の前カゴの中身を狙った犯行で、4割強が自動車の車内等を狙った犯行である。